

令和2年11月20日(金)

**Festa in Parti!**

# 「コロナ禍が女性に及ぼす影響」 アンケート調査結果 中間報告

川面 充子

国立大学法人宇都宮大学  
ダイバーシティ研究環境推進本部

# コロナ禍が女性に与えた影響

## ◆ Alcohol Deaths Increase Among US Women

- ・ 米国人女性のアルコール関連の死亡率が増加
- ・ 日本でも市販薬、アルコール依存が増加

## ◆ 日本人女性と若者・子どもの自殺率増

- ・ ウェルテル効果 = 連鎖自殺、誘発効果、ドミノ連鎖
- ・ 2020年8月 自殺者数 男性1,229人 (前年度比 +90人)  
女性 660人 (前年度比 +196人)

出所：厚生労働省調べ

**USA**  
**US Women Are Drinking More Than Ever**  
By VOA News  
October 04, 2020 03:12 AM

**MORE COVERAGE**  
Race in  
South & Central Asia  
Taliban Expect Biden to  
Stick to Afghan Peace  
Deal Without Significant  
Change  
2020 USA Votes  
What it Means in the US to  
Become President-Elect  
USA  
Tropical Storm Eta Likely  
to Arrive as Hurricanes in  
Florida Late Sunday  
2020 USA Votes  
Former Republican US  
President Bush  
Congratulates Biden  
USA  
Alex Trebek, Long-  
Running 'Jeopardy!' Host,  
Dies at 80

Alcohol-related deaths are increasing in the United States, according to a report this month from the U.S. Centers for Disease Control and Prevention.

The study found that while more men than women died each year from alcohol-related causes, the rate of increase in deaths was higher for women.

And now, it appears, more women are turning to drinking during the coronavirus pandemic shutdown. Many of them bear the burden of most household duties, including childcare. In addition to their responsibilities to their jobs outside their homes, which many are now doing from their homes.

"Having children in the home was associated with more drinking," Lindsey Rodriguez recently told NBC News.

Rodriguez, one of the authors of a study about the pandemic and excessive alcohol consumption published in the journal Addictive Behaviors, said that for women "the most problematic alcohol use happened around March and April" of this year when the lockdown went into effect.

Another study published recently in JAMA Network Open said that while Americans increased their alcohol consumption by 14% from 2019 to 2020, women increased their heavy drinking -- more than four drinks in one sitting -- by 41%.

Alcohol is the "easiest coping strategy," Natalie Crawford, an assistant professor of behavioral, social and health education at the Emory University Rollins School of Public Health, told NBC News recently. "Over a short time period, the system does a really good job of adapting to stress."

**なぜ女性の自殺はコロナ以降で増えた？ 虐待、性被害、家庭でもっとも弱い存在**  
11/9(月) 8:10 配信 94  
BUSINESS INSIDER JAPAN

2020年7月以降、命を絶つ若い女性が増えている。

芸能人の自殺報道によって、若者らの自殺が増える「ウェルテル効果」の影響が大きいとの識者の指摘もあるが、他にもコロナ禍によって生まれたさまざまな要因が、心を追い詰めているようだ。

2020年夏以降、若年女性の自殺の数は大きく増えている。コロナ禍との関連は、専門家に聞いた。

【全画像をみる】なぜ女性の自殺はコロナ以降で増えた？ 虐待、性被害、家庭でもっとも弱い存在

専門家は、彼女たちの孤独感や悩みが深刻化する前の「小さな生きづらさ」の段階で、丁寧にケアする必要性を訴えている。

「女子の原因」があるはず

厚生労働省の指定法人で自殺対策に取り組む「いのち支える自殺対策推進センター」（JSCP）の「コロナ禍における自殺の動向に関する分析」によると、4～6月は前年に比べてやや少なめに推移していた自殺者数は、7月以降に急増。男女ともに増えてはいるものの、増加幅が大きいのは女性だった。

特に8月は、過去5年間5～14人で推移していた女子中高生の自殺者数が30人に増え、男子の28人を上回った。2020年3月まで防衛医科大学教授を務め、子どもの自殺問題に詳しい高橋聡美氏によると、日本では全年代で女性より男性の自殺の方が多

# アンケート調査概要

タイトル：「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について」

調査期間：令和2年10月10日(土)～令和2年10月26日(月)

対象者：栃木県内在住の女性

回答数：493

## 「新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響について」アンケート

みなさまのご意見を参考にさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願いします。

【調査期間】令和2年10月10日(土)～令和2年10月26日(月)

### ■調査目的

新型コロナウイルスの感染拡大により、4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大され、4月18日より栃木県が緊急事態宣言となりました。不要不急の外出自粛要請と併せて、学校の休校や在宅勤務、自粛や勤務の休業等、生活に大きな影響を及ぼすことになり、生活不安やストレスの増加、またそれらに起因するDVの増加が懸念されるなどが問題になりました。5月6日栃木県の緊急事態宣言は解除されたものの、新しい生活様式の実践や働き方が見直され私たちの生活は大きく変化しました。

その中で浮き彫りとなってきた課題の一つが、新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響です。女性は非正規で働いている場合が多く、職を失いやすいうえ、学校の閉鎖や保育園の受け入れ縮小により、子育てや家の中の仕事を一気に担うことが多くなりました。また、今までは異なるワークライフバランスの在り方や心理的ストレスとう向き合っていくかも問題となっています。

栃木県女性の生活や心身にどのような影響を及ぼした(している)のか現状を把握し、今後の生活や働き方を展開するにあたって、必要な取組みは何かを導き出すことを目的とし、新型コロナウイルス禍が女性に及ぼす影響についてアンケートを実施します。

### ■調査方法

Web調査(10問5分程度) (株式会社マクロミル Questant)

なお、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の個人が識別できる情報として公表されることはありません。

### ■対象

栃木県内在住の女性

### ■アンケート実施者・協力機関

実施者：宇都宮大学ダイバーシティ研究推進本部 特任助教 川面充子

協力機関：栃木県、公益財団法人とりぎ男女共同参画財団、栃木労働局雇用環境・均等室

■下記の URL、または右の QR コードを読み取り、アンケートにご回答ください。

<https://questant.jp/a/8SD4W056>



■11月20日ファスタ in パルティにてアンケート調査中間報告

2021年3月 アンケート調査結果・分析報告、情報誌パルティ掲載

### ■アンケートに関するお問い合わせ先

宇都宮大学ダイバーシティ研究推進本部 特任助教 川面充子

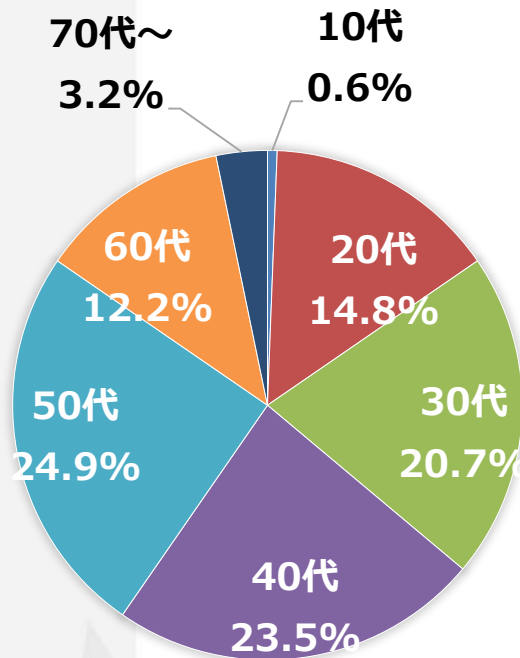
電話：028-649-5151/メール：mkawazura@cc.utsunomiya-u.ac.jp

アンケートにご協力いただいた皆様、  
協力機関の方々に改めて御礼申し上げます。

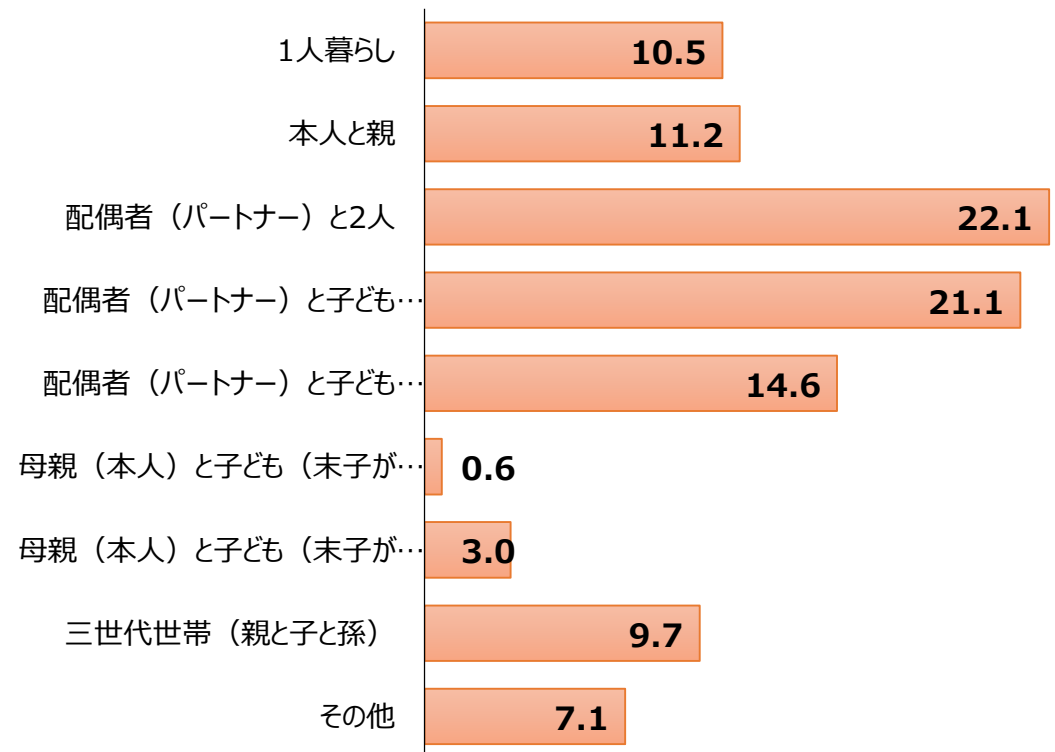


# アンケート調査結果 <Q 1> <Q 2>

## 年代



## 家族形態

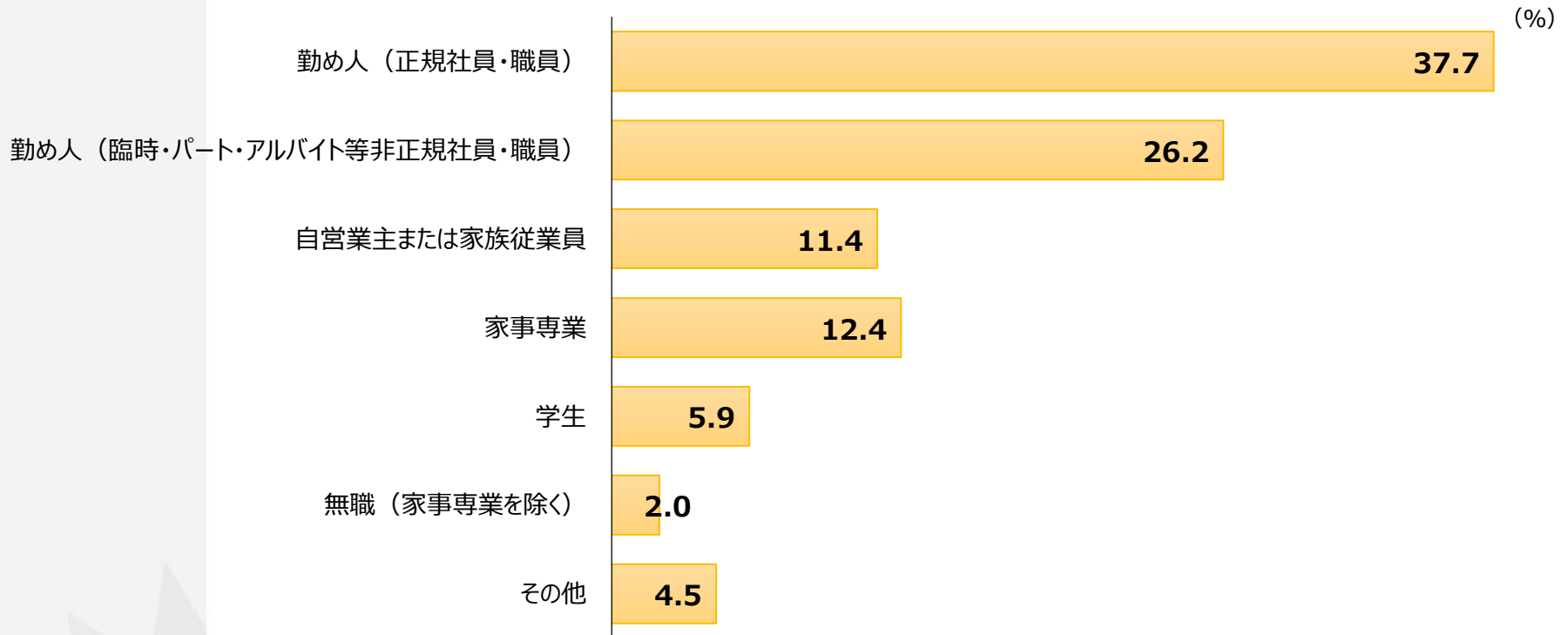


(%)

# アンケート調査結果 < Q 3 >

## 職業

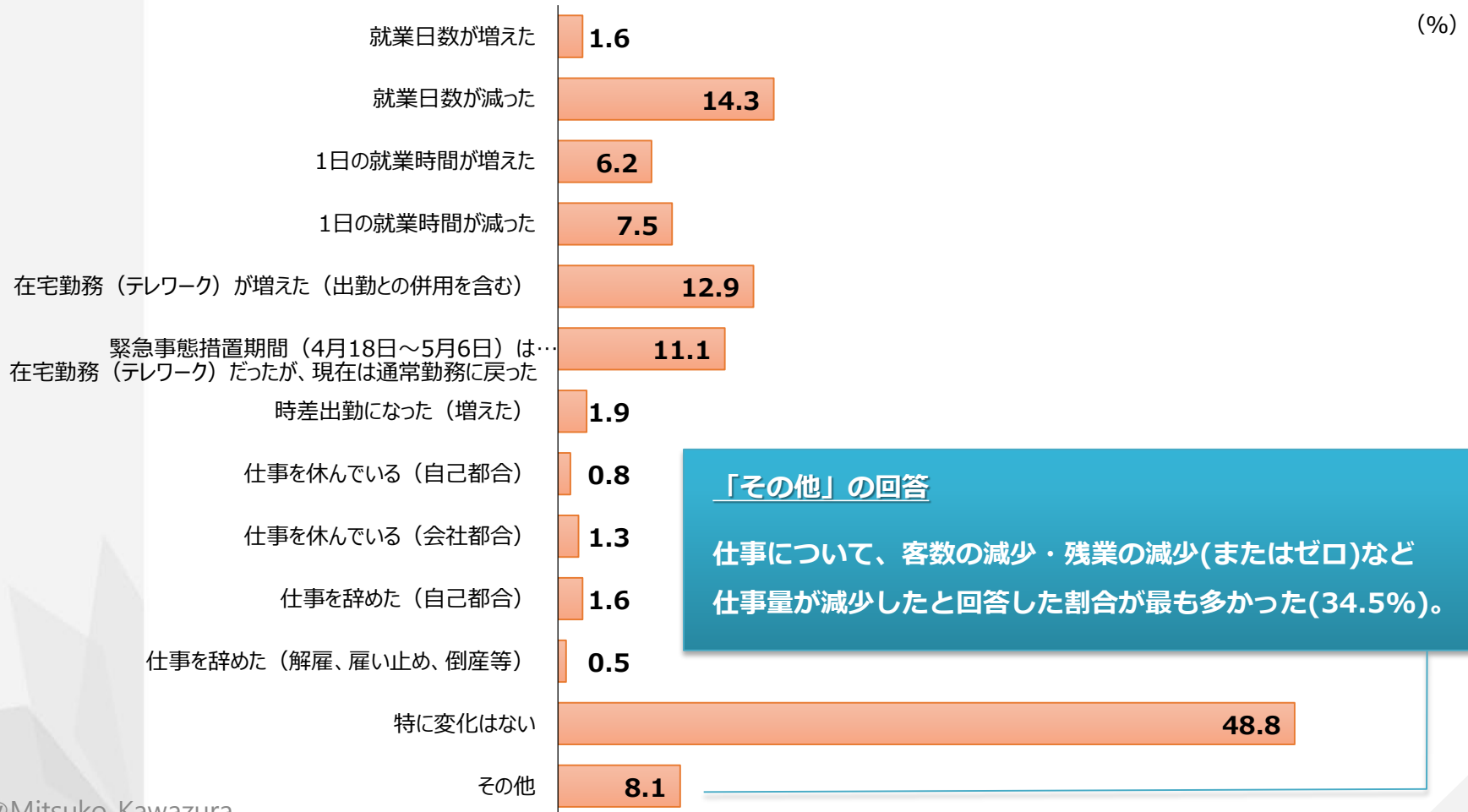
※新型コロナウイルスの影響で仕事を辞めた方は、辞める前の職業。



# アンケート調査結果 < Q 4 >

## コロナ禍前と現在とを比較し、新型コロナウイルスの影響により働き方に変化はありましたか。【複数回答可】

※ Q3で「勤め人(正規社員・職員)、勤め人(臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員)、自営業主または家族従業員」のいずれかに回答された方のみ回答。



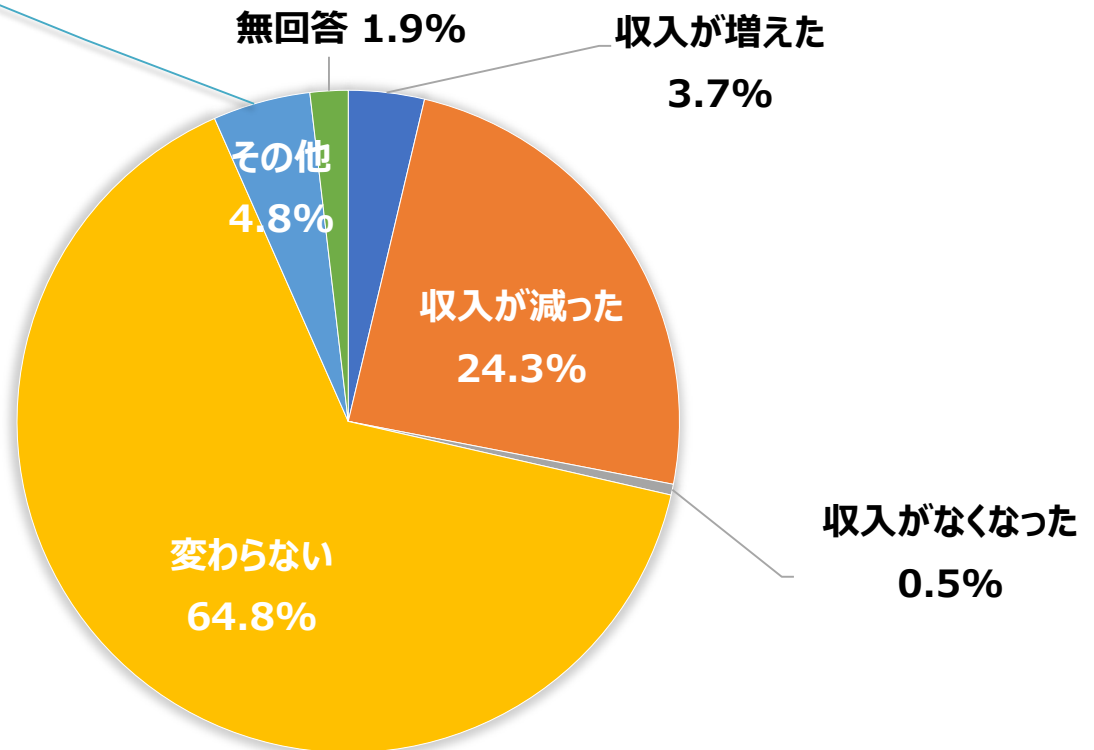
# アンケート調査結果 < Q 5 >

## コロナ禍前と現在とを比較し、収入に影響はありましたか。

※ Q3で「勤め人(正規社員・職員)、勤め人(臨時・パート・アルバイト等非正規社員・職員)、  
自営業主または家族従業員」のいずれかに回答された方のみ回答。

### 「その他」の回答

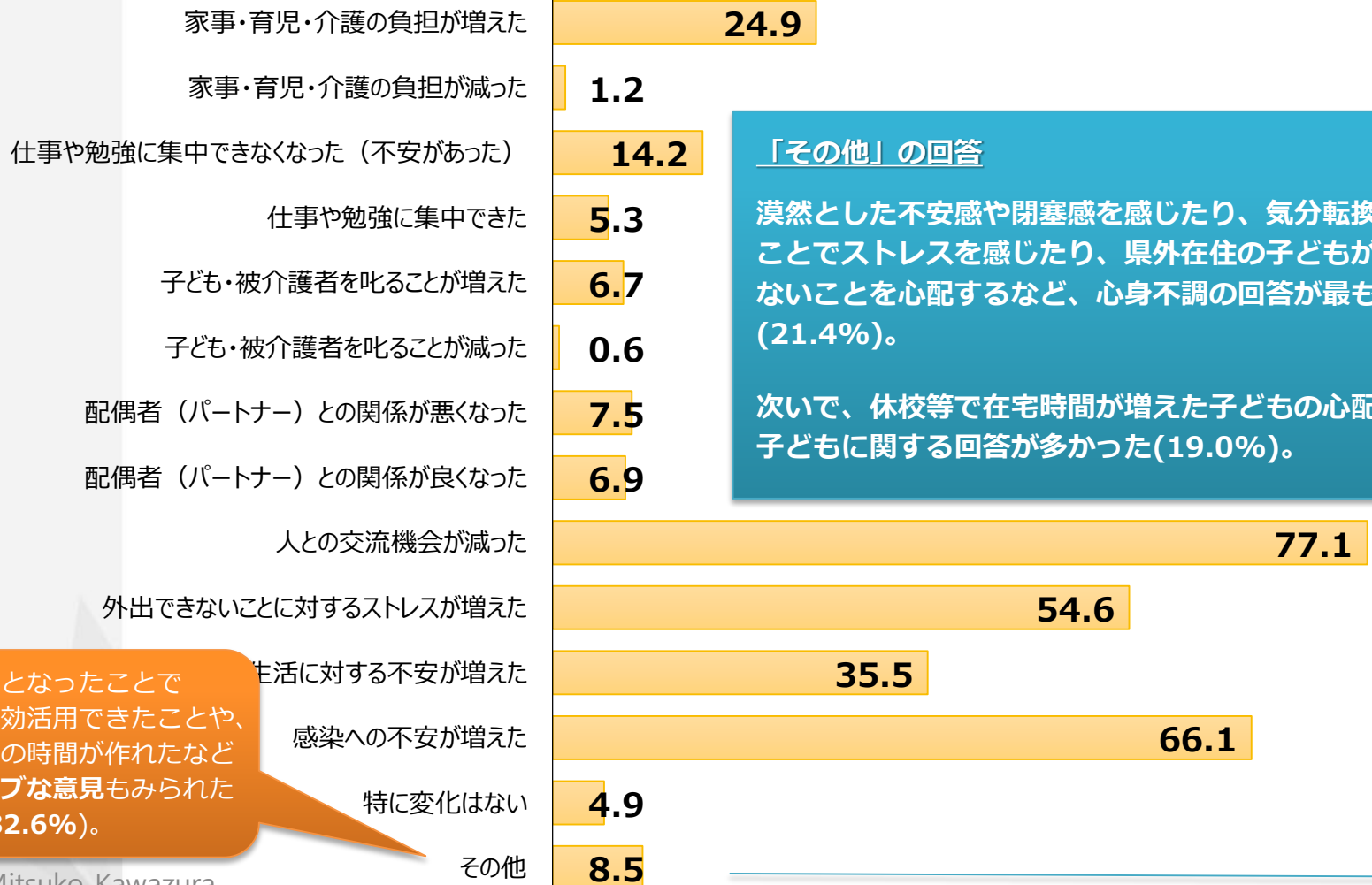
収入が通常より少なかったり(収入減)、冬の賞与に影響が出ると思う(収入減見込み)と回答した割合が最も多かった(54.5%)。



# アンケート調査結果 < Q 6 >

緊急事態措置期間(4月18日～5月6日)、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化がありましたか。【複数回答可】

(%)



## 「その他」の回答

漠然とした不安感や閉塞感を感じたり、気分転換できないことでストレスを感じたり、県外在住の子どもが帰省できないことを心配するなど、心身不調の回答が最も多かった(21.4%)。

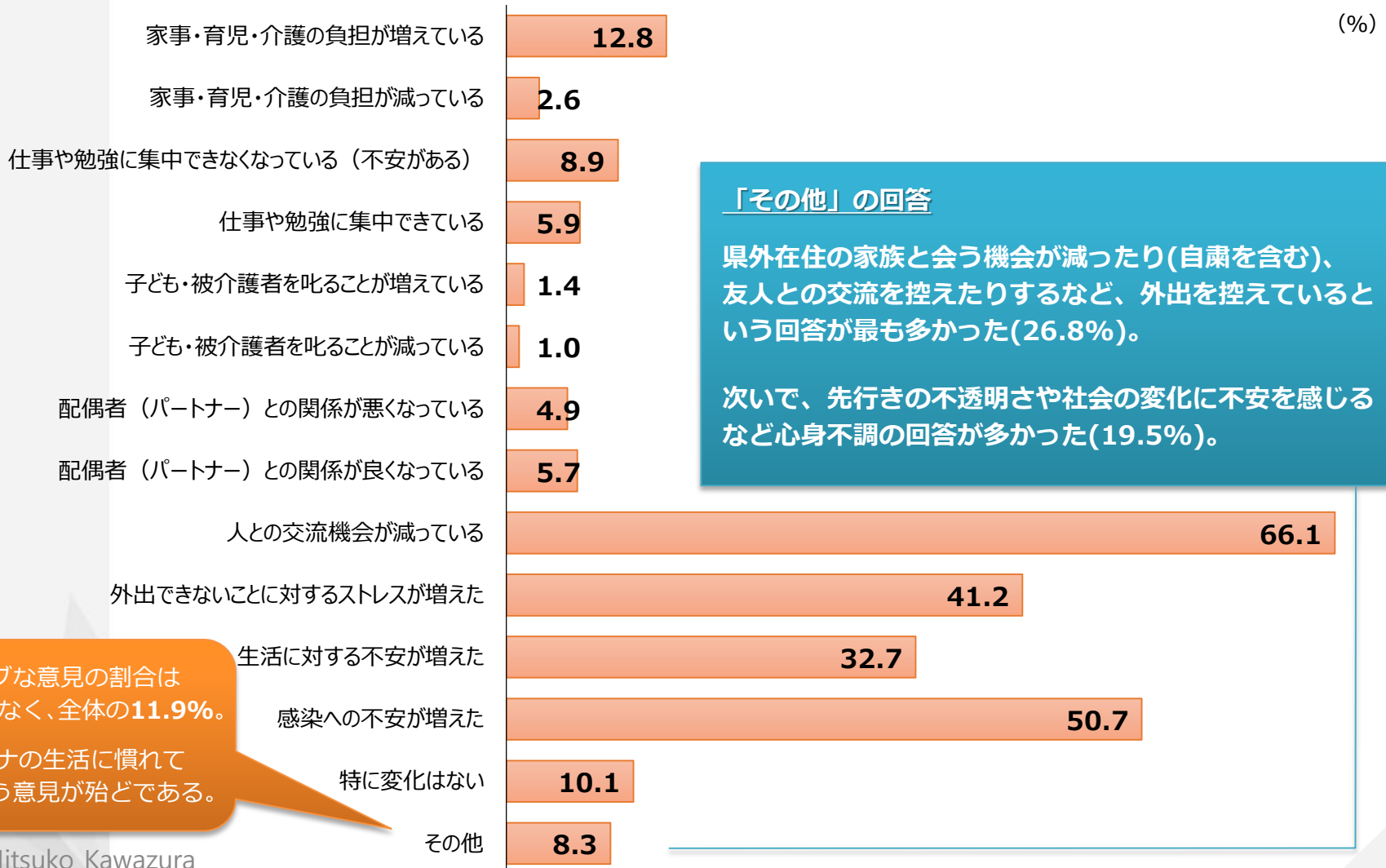
次いで、休校等で在宅時間が増えた子どもの心配など、子どもに関する回答が多かった(19.0%)。

在宅勤務となったことで時間を有効活用できたことや、子どもとの時間が作れたなど**ポジティブな意見**もみられた(全体の**32.6%**)。



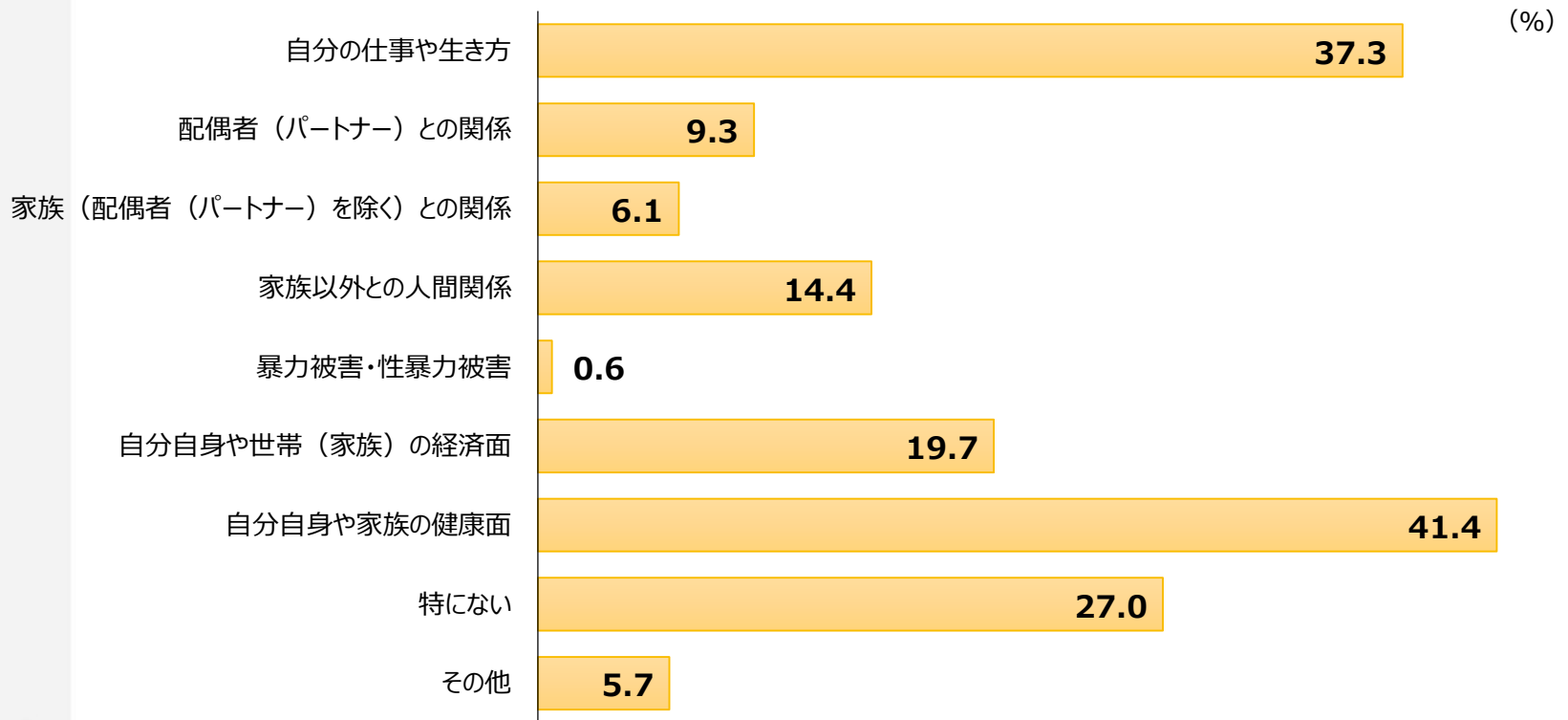
# アンケート調査結果 < Q 7 >

現在、新型コロナウイルスの影響で、コロナ禍前と比べ、あなたの生活や行動、心身に変化はありますか。【複数回答可】



# アンケート調査結果 < Q 8 >

今、困っていることは何ですか。【複数回答可】



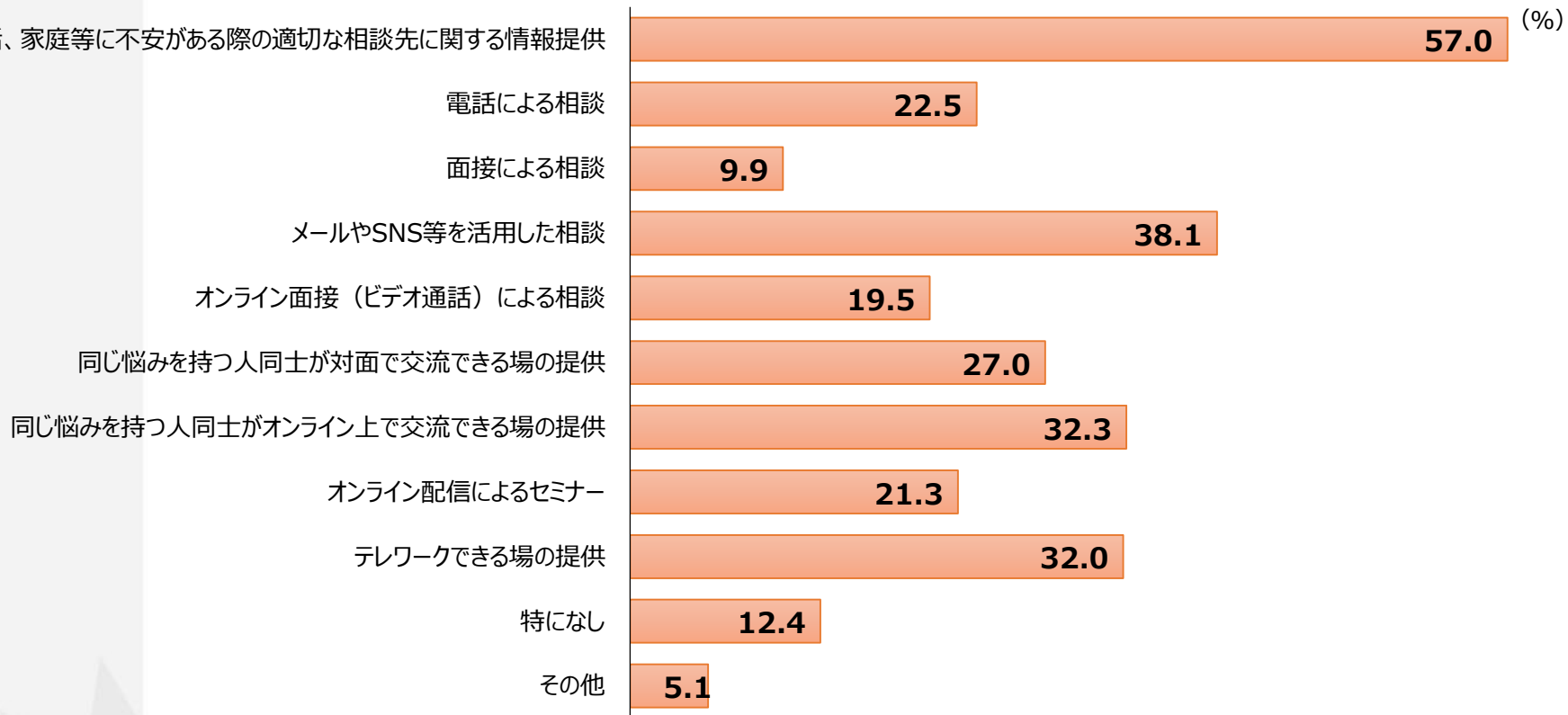
## 「その他」の回答

売上や収入の減少、行動が制限されていることにより不便を感じるなど、本人の仕事や生活に関する回答が最も多かった(25.0%)。

次いで、学校行事の削減や授業オンライン化に伴う子どもの精神面の心配等、子ども・育児に関する回答が多かった(17.9%)。

# アンケート調査結果 <Q9>

コロナ禍の中、女性に対する支援としてどのような施策が必要と思われますか。【複数回答可】



## 「その他」の回答

行政や国の女性への支援予算の増額など経済的支援を必要とする回答の割合が最も多かった(32.0%)。



# ご協力ありがとうございました。

自由記述を含む詳細な最終アンケート調査分析結果は、3月に報告いたします。

調査分析結果が必要な方はご連絡いただきますようお願いします。

川面 充子

[mkawazura@cc.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:mkawazura@cc.utsunomiya-u.ac.jp)

[yuzu1128@me.com](mailto:yuzu1128@me.com)